

(第10回ボルダ―神奈川カップ JMSCAスポーツクライミング競技規則 適用変更内容一覧)

以下の変更は、神奈川県山岳連盟が主管する「第10回ボルダ―神奈川カップ」エキスパートクラスにおいてのみ適用し、その他の大会では適用しない。

該当条項	変更内容	変更に関する解説
第3条 (4)	(追加)⑦自身が属するカテゴリーに割り当てられたボルダ―以外のストラクチャー、ホールドを身体の一部で用いる。	クライミング面に複数の課題があるため、指定された課題以外のホールド等を使用してはならない。
第18条	※適用せず	
第67条 第1項	(変更)本競技会は、次の各号に定めるラウンドで構成する。 (1) 各カテゴリーにつき7ボルダ―で実施する予選 (2) 各カテゴリーにつき3ボルダ―で実施する決勝	予選はコンテスト方式。
第70条 第2項、 第3項	※適用せず	
第71条 第1項	(変更)決勝の定員は各カテゴリーの人数により変動し、最大8名とする。	
第72条	※適用せず	予選はコンテスト方式のため競技順はない。
第73条	※決勝のみ適用	準決勝は実施しない。
第74条	※決勝のみ適用	予選はアイソレーションを適用しない。
第75条	(変更)予選終了時刻と決勝オブザベーション開始時刻の間に2時間の間隔を空ける。	
第76条	※決勝のみ適用	予選はコンテスト方式のため競技順はない。
第77条 第1項	(変更)予選は、選手は自分が属するカテゴリーに割り当てられたボルダ―のうち、自分が希望する順に各ボルダ―でアテンプトを行うことができる。ボルダ―でのアテンプト前に当該ボルダ―を担当する審判員にスコアカードを提出し、指示に従いアテンプトを開始する。	コンテスト方式の説明。
第77条 第2項～ 第4項	※適用せず	
第80条 第1項	(変更)予選におけるアテンプト・ピリオドはタイムスケジュールで定める最大競技時間のみで構成され、準備時間は設けない。	コンテスト方式の説明。
第80条 第3項 第3号	(変更)最大競技時間の残り1分の時点および最大競技時間の開始と終了を伝える音声信号を出す。	準備時間及び最大競技時間の終了5秒前からのカウントダウンを伝える音声信号はない。
第81条	(変更)選手は、決勝における当該ボルダ―の最大競技時間内では、アテンプト回数の制限を受けることはないものとする。ただし、予選においては、各ボルダ―につき5アテンプトまでとするが、同一のボルダ―で連続してアテンプトを行う必要はない。	コンテスト方式の説明。

第82条 第2項	※適用せず	ブラッシャーはいないので、必要な場合は選手が自分でブラシをする。
第95条 第1項	(変更)選手が当該ボルダーでの追加アテンプトを行うことが認められる抗議は、予選の場合は当該選手の属するカテゴリーの競技時間終了前に、決勝の場合は次の選手がアテンプトを開始する前までに申し立てなければならない。	不正スタートや完登に関する抗議が認められる期間に関するもの。